

第 29 回日本眼科学会専門医認定試験問題(2017)

**The 29th Board Examination for Specialist
in Japanese Ophthalmological Society (2017)**

一般問題 100 問(解答時間 2 時間)

- 1 網膜の神経節細胞と視細胞の細胞数の比率はどれか。
a 100:1 b 10:1 c 1:1 d 1:10 e 1:100
- 2 網膜の内顆粒層に核が存在する細胞はどれか。2つ選べ。
a 視細胞 b 双極細胞 c Müller 細胞 d 希突起膠細胞 e 網膜神経節細胞
- 3 加齢とともにみられる変化で誤っているのはどれか。
a Descemet 膜の菲薄化 b Meibom 腺の萎縮 c 涙液分泌量の低下
d 涙液排出量の減少 e 角膜内皮細胞密度の減少
- 4 支配神経の核が交叉性に存在する外眼筋はどれか。2つ選べ。
a 上直筋 b 内直筋 c 下直筋 d 上斜筋 e 下斜筋
- 5 虹彩で誤っているのはどれか。
a 瞳孔括約筋は神経外胚葉由来である。 b 前面(角膜側)に前上皮細胞層が存在する。
c 瞳孔散大筋は前上皮細胞層から分化する。 d 瞳孔括約筋には各筋束に神経終末がある。
e 瞳孔括約筋は交感神経と副交感神経の二重支配を受ける。
- 6 新生児の平均眼軸長はどれか。
a 13 mm b 15 mm c 17 mm d 20 mm e 23 mm
- 7 角膜実質の主要コラーゲンはどれか。
a I 型 b II 型 c III 型 d IV 型 e VI 型
- 8 外眼筋の作用で正しいのはどれか。
a 上直筋: 上転・外方回旋・内転 b 下直筋: 下転・外方回旋・内転
c 上斜筋: 下転・外方回旋・外転 d 下斜筋: 上転・内方回旋・外転
e 内直筋: 内転・外方回旋
- 9 涙腺で誤っているのはどれか。
a 涙腺動脈は眼動脈からの分枝である。
b 主涙腺は上眼瞼挙筋の前方に位置する。
c 副涙腺の Krause 腺は結膜円蓋部に存在する。
d 主涙腺の排出導管は上外側の結膜円蓋部にある。
e 主涙腺の神経支配は三叉神経と交感神経および副交感神経の3つである。
- 10 ERG の波形と主に関与している部位の組合せで誤っているのはどれか。
a a 波———視細胞
b b 波———網膜神経節細胞
c c 波———網膜色素上皮細胞
d 早期視細胞電位(ERP)———視細胞外節
e 律動様小波(OP)———アマクリン細胞
- 11 乳児の視力評価に用いる検査はどれか。2つ選べ。
a OKN ドラム b PL 法 c ETDRS チャート d 字ひとつ視標 e 森実式ドットカード

- 12 網膜対応異常を検出できないのはどれか。
a Bagolini 線条ガラス試験 b Titmus ステレオテスト c Worth 4 灯試験
d 大型弱視鏡検査 e 残像試験
- 13 VDT 作業者の配置前健康診断の実施項目でないのはどれか。
a 屈折検査 b 眼位検査 c 5 m 視力 d 近見視力 e 細隙灯顕微鏡検査
- 14 医薬品副作用被害救済制度の対象となるのはどれか。
a 抗がん剤による健康被害 b 一般用医薬品による健康被害
c 医薬品の不適正な処方による健康被害 d 法定予防接種を受けたことによる健康被害
e 製造過程で不純物が混入した医薬品による健康被害
- 15 コンタクトレンズで誤っているのはどれか。
a 視力矯正用コンタクトレンズは高度管理医療機器である。
b おしゃれ用カラーコンタクトレンズは医薬品医療機器等法の規制対象外である。
c 医療機関は営利目的でコンタクトレンズを販売することを医療法で禁止されている。
d インターネット通販では未認可のおしゃれ用カラーコンタクトレンズが販売されている。
e 視力矯正用コンタクトレンズの輸入・販売には医薬品医療機器等法の許可が必要である。
- 16 ウイルス性結膜炎の院内感染が発生した場合に行うのはどれか。2つ選べ。
a 発症患者を陰圧室に収容する。 b 地方自治体へ直ちに連絡する。
c 院内感染対策委員会に連絡する。 d 入院患者の眼圧測定を中止する。
e ジェル型手指消毒薬を入院患者に使用させる。
- 17 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針で正しいのはどれか。
a 個人情報保護の観点から、連結可能匿名化は避けるべきである。
b 明らかな利益相反のある研究者は、その研究に携わってはいけない。
c 理解度の低い小児に代わって親から説明と同意を得ることをインフォームド・アセントという。
d 通常の診療が行われた患者の診療録を後で調べて行う研究であれば、倫理委員会に申請する必要はない。
e モニタリングとは臨床研究の進捗状況を確認し、研究が正しく進められているかどうかを調べることである。
- 18 右指数弁, 左 0.6(矯正不能). 左眼の視野検査に異常はない。
視覚障害の等級はどれか。
a 3 級 b 4 級 c 5 級 d 6 級 e 7 級
- 19 視覚特別支援学校の児童に最も多いのはどれか。
a 緑内障 b 小眼球 c 視神経萎縮 d 眼皮膚白皮症 e 未熟児網膜症
- 20 指定難病でないのはどれか。
a 網膜色素変性 b IgG4 関連疾患 c 特発性視神経炎
d 黄斑ジストロフィ e Leber 遺伝性視神経症
- 21 角膜の提供について正しいのはどれか。
a 90 歳以上は提供できない。
b 死因が不明の場合でも提供可能なことがある。
c 提供者の承諾があれば遺族の承諾は必要ない。
d 梅毒感染陽性ドナーの角膜は移植に使用できない。
e 親族への優先提供の意思表示があれば、子供への提供が可能である。

- 22 HIV 感染対策で正しいのはどれか。
- 70%エタノール消毒は無効である。
 - 2%次亜塩素酸ナトリウム消毒は無効である。
 - 一般外来診療ではゴム手袋を着用する。
 - 使用後のコンタクトレンズ電極はエチレンオキサイドガス滅菌を行う。
 - 感染者を診断したときは保健所に報告する。
- 23 頸動脈海綿静脈洞瘻で正しいのはどれか。3つ選べ。
- 前眼部には異常を認めない。
 - 外転神経麻痺を起こしやすい。
 - 間接型は若い男性に多くみられる。
 - 画像検査で上眼静脈の拡張が認められる。
 - 直接型ではしばしば拍動性眼球突出を来す。
- 24 小児に好発する眼窩腫瘍はどれか。2つ選べ。
- 神経鞘腫
 - 皮様嚢腫
 - 横紋筋肉腫
 - 悪性リンパ腫
 - 涙腺多形腺腫
- 25 涙液の排出経路で正しいのはどれか。
- 涙点→涙小管水平部→涙小管垂直部→総涙小管→涙囊→骨性鼻涙管→膜性鼻涙管→下鼻道
 - 涙点→涙小管垂直部→涙小管水平部→総涙小管→涙囊→骨性鼻涙管→膜性鼻涙管→下鼻道
 - 涙点→涙小管垂直部→涙小管水平部→総涙小管→涙囊→膜性鼻涙管→骨性鼻涙管→下鼻道
 - 涙点→涙小管垂直部→涙小管水平部→総涙小管→涙囊→膜性鼻涙管→骨性鼻涙管→中鼻道
 - 涙点→涙小管水平部→涙小管垂直部→総涙小管→涙囊→骨性鼻涙管→膜性鼻涙管→中鼻道
- 26 乳幼児の涙道疾患で正しいのはどれか。
- 先天鼻涙管閉塞の治療は開放するまでブジーを行う。
 - 流涙や眼脂を認めれば、ほぼ先天鼻涙管閉塞と診断できる。
 - 先天鼻涙管閉塞は1歳までに約30%が自然経過で治癒する。
 - 先天鼻涙管閉塞の閉塞部位は涙囊から鼻涙管への移行部位に多い。
 - 涙囊炎の起炎菌は *Streptococcus pneumoniae*, *Haemophilus influenzae* が多い。
- 27 偽眼瞼下垂を来すのはどれか。2つ選べ。
- 動眼神経麻痺
 - 滑車神経麻痺
 - 重症筋無力症
 - 眼瞼皮膚弛緩症
 - コンタクトレンズ装用
- 28 結膜常在菌はどれか。3つ選べ。
- アクネ菌
 - バチルス
 - 黄色ブドウ球菌
 - 表皮ブドウ球菌
 - コリネバクテリウム
- 29 アレルギー性結膜疾患で正しいのはどれか。2つ選べ。
- 巨大乳頭の切除は有効な治療法である。
 - アレルギー性結膜炎では涙液中にIgEがみられる。
 - 春季カタルの巨大乳頭には好中球の浸潤がみられる。
 - 春季カタルにはタクロリムス水和物点眼薬の効果が弱い。
 - 輪部型春季カタルにはシクロスポリン点眼薬は無効である。
- 30 ケラトメータによる平均角膜屈折力が37.50 Dであった。考えられるのはどれか。
- 円錐角膜
 - 白内障術後
 - LASIK術後
 - 後部円錐角膜
 - ペルーシド角膜辺縁変性

- 42 ポリープ状脈絡膜血管症で正しいのはどれか。
 a 欧米人に多い。 b 主病変は網膜色素上皮の上にある。 c 黄斑下血腫の原因となる。
 d 光線力学療法は無効である。 e 抗 VEGF 療法の適応はない。
- 43 多発性後極部網膜色素上皮症で正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 脈絡膜の肥厚がみられる。
 b 胞状の網膜剥離がみられる。
 c 副腎皮質ステロイド内服が奏効する。
 d 黄斑部網膜外層に多発性の灰白色斑状病巣がみられる。
 e フルオレセイン蛍光眼底造影で蛍光の逆転現象(早期に低蛍光, 後期に過蛍光)がみられる。
- 44 嚢胞様黄斑浮腫を来さないのはどれか。
 a 白内障術後 b サルコイドーシス c 網膜中心動脈閉塞症
 d 黄斑部毛細血管拡張症 e プロスタグランジン関連薬点眼
- 45 OCT 像で網膜色素上皮層が波打つような所見がみられるのはどれか。2つ選べ。
 a 低眼圧黄斑症 b サルコイドーシス c Vogt-小柳-原田病
 d 中心性漿液性脈絡網膜症 e 多発性後極部網膜色素上皮症
- 46 網膜血管腫状増殖で正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 男性に多い。 b 日本人は白人よりも頻度が高い。 c 嚢胞様黄斑浮腫を伴う。
 d ドルーゼンは伴わない。 e 新生血管と網膜血管の吻合が生じる。
- 47 網膜色素上皮裂孔で正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 萎縮型加齢黄斑変性に合併する。 b 滲出型加齢黄斑変性に合併する。
 c 裂孔部は眼底自発蛍光で過蛍光となる。 d 裂孔部で網膜色素上皮細胞が増殖する。
 e 裂孔部はフルオレセイン蛍光眼底造影で低蛍光となる。
- 48 軟性白斑で誤っているのはどれか。
 a 網膜外層に存在する。 b 局所の網膜虚血で生じる。
 c 網膜神経線維の膨化がみられる。 d 高血圧網膜症にみられる。
 e 全身性エリテマトーデスの網膜症にみられる。
- 49 糖尿病黄斑浮腫の治療で正しいのはどれか。
 a 抗 VEGF 療法は即効性である。
 b 局所黄斑浮腫は硝子体手術のよい適応である。
 c 硝子体手術抵抗例には抗 VEGF 薬も無効である。
 d 網膜光凝固は抗 VEGF 薬抵抗例の場合に著効する。
 e トリアムシノロンアセトニド硝子体内注射は無効である。
- 50 未熟児網膜症で正しいのはどれか。
 a 修正在胎週数 32 週になればスクリーニングを開始する。
 b 網膜剥離を発症するのは修正在胎週数 45 週間後が多い。
 c 著明な水晶体血管膜があれば直ちに光凝固を行う。
 d Zone II, stage 2 の状態になれば直ちに光凝固を行う。
 e Zone I, stage 2 plus の状態になれば直ちに光凝固を行う。

- 51 急性網膜壊死で正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 両眼同時発症が多い。 b 免疫不全患者に多い。
 c 虹彩毛様体炎が先行する。 d サイトメガロウイルスが主な原因である。
 e 副腎皮質ステロイド全身投与が行われる。
- 52 眼筋型重症筋無力症の診断に有用でないのはどれか。
 a アイステスト b 症状の日内変動 c 上方注視負荷試験
 d プリズム順応試験 e エドロホニウム塩化物静注試験(テンシロンテスト)
- 53 透析患者にみられる眼合併症はどれか。3つ選べ。
 a 眼瞼下垂 b 帯状角膜変性 c 網膜静脈閉塞症 d 裂孔原性網膜剝離 e 視神経萎縮
- 54 霰粒腫, サルコイドーシス, Vogt-小柳-原田病の各病理組織像で共通する細胞はどれか。2つ選べ。
 a 好中球 b 好酸球 c 好塩基球 d リンパ球 e 類上皮細胞
- 55 Behçet 病の主症状でないのはどれか。
 a 口内炎 b 関節炎 c ぶどう膜炎 d 外陰部潰瘍 e 皮下血栓性静脈炎
- 56 自覚屈折検査における赤緑検査に関連するのはどれか。
 a 色収差 b 球面収差 c コマ収差 d 歪曲収差 e 軸外収差
- 57 水晶体で加齢とともに減少するのはどれか。2つ選べ。
 a 厚さ b 散乱 c 弾性 d 高次収差 e 前面の曲率半径
- 58 cyl-3.00 D Ax 180°の円柱レンズで, 軸から 30°上方へ傾いた経線での屈折度はどれか。
 a -0.50 b -0.75 c -1.00 d -1.25 e -1.50
- 59 視力が 0.4(1.2×cyl-2.00 D Ax 180°)の眼で, 遠方の Landolt 環を裸眼で見たとき, 切れ目の判別しやすい方向はどれか。
 a 12時 b 1時 c 2時 d 3時 e 4時
- 60 乳児内斜視にみられるのはどれか。2つ選べ。
 a 潜伏眼振 b 外転時の眼振 c 屈折異常弱視 d 交代性上斜位 e 外転時の上転過剰
- 61 弱視で正しいのはどれか。
 a 太田母斑は弱視の原因となる。
 b 嫌悪反射は健眼を遮閉したときにみられる。
 c 屈折異常弱視は二重焦点眼鏡の適応である。
 d 近見ペナリゼーション法では弱視眼に調節麻痺薬を点眼する。
 e 4.00 D 以上の左右差のある不同視弱視にはコンタクトレンズが第一選択である。
- 62 斜視と治療の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。
 a A型斜視———内直筋下方移動術
 b 輻湊けいれん———両内直筋後転術
 c 右滑車神経麻痺———左下直筋後転術
 d 右外転神経麻痺———左内直筋後転術
 e 輻湊不全型外斜視———内直筋 Faden 法

- 63 正しいのはどれか。
- a 間欠性外斜視は複視を自覚しない。 b 交代性上斜位は遮閉眼が上転する。
c 先天内斜視の原因は内眼角贅皮である。 d 部分調節性内斜視は屈折矯正で正位になる。
e Brown 症候群は内転時に眼球後退がみられる。
- 64 色覚異常に配慮したスライドプレゼンテーションで正しいのはどれか。
- a 強調したい文字を赤色にする。 b 青色背景色に黄色文字を用いる。
c 折れ線グラフに赤と緑を用いる。 d 赤のレーザーポインターを用いる。
e パステル調の桃色と明るい青色の文字を組合せる。
- 65 先天色覚異常の程度判定が可能な検査はどれか。3つ選べ。
- a アノマロスコープ b 石原色覚検査表 c 色相配列検査
d 標準色覚検査表 e ランタンテスト
- 66 脳梗塞後の左方視時に、右眼の内転制限と左眼の眼振を認める。輻湊は可能である。梗塞部位はどれか。
- a 橋 b 延髄 c 小脳 d 側頭葉 e 大脳基底核
- 67 抗アクアポリン4抗体陽性視神経炎の特徴はどれか。2つ選べ。
- a 男性に多い。 b 再発しやすい。
c 眼球運動痛は伴わない。 d 副腎皮質ステロイドが著効する。
e 他の自己抗体も陽性となることが多い。
- 68 回旋斜視の診断に有用な検査はどれか。2つ選べ。
- a 大型弱視鏡 b Hirschberg 法 c Hess 赤緑試験
d 無散瞳眼底写真 e 交代プリズム遮閉試験
- 69 眼窩底骨折で障害されるのはどれか。
- a 前頭神経 b 滑車下神経 c 眼窩下神経 d 翼口蓋神経 e 鼻毛様体神経
- 70 緑内障の視野進行評価で誤っているのはどれか。
- a 視野は加齢により感度低下を来す。
b MD slope はトレンド解析から算出される。
c 長期変動の大きい症例では視野進行判定が遅れる。
d 視野測定回数を増やすことで早期に進行判定を行うことができる。
e イベント解析は視野指標の経時的変化を近似直線を用いて評価する。
- 71 開放隅角緑内障の危険因子で誤っているのはどれか。
- a 乳頭出血 b 薄い角膜厚 c 心疾患既往歴 d 高い眼灌流圧 e 大きいC/D比
- 72 線維柱帯切開術で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 過剰濾過に注意する。 b 生理的流出路再建である。
c 前房出血は自然消退しない。 d 早発型発達緑内障は適応である。
e 角膜混濁があれば施行できない。
- 73 緑内障を疑う視神経乳頭所見で正しいのはどれか。
- a C/D比が0.6 b R/D比が0.15 c 乳頭径が1.5 mm
d DM/DD比が2.7 e 水平C/D比の左右差が0.3

- 74 発達緑内障の原因となるのはどれか。3つ選べ。
 a ムコ多糖症 b Peters 異常 c Duane 症候群
 d Axenfeld-Rieger 症候群 e 第1次硝子体過形成遺残
- 75 交感神経受容体のうち刺激で眼圧が下がるのはどれか。
 a α_1 b α_2 c β_1 d β_2 e β_3
- 76 正常眼を隅角鏡で観察した場合、隅角底から観察される隅角構造の順番で正しいのはどれか。
 a 強膜岬→線維柱帯→毛様体帯→Descemet 膜
 b 強膜岬→線維柱帯→毛様体帯→Schwalbe 線
 c 毛様体帯→強膜岬→線維柱帯→Schwalbe 線
 d 毛様体帯→Schwalbe 線→線維柱帯→Descemet 膜
 e 線維柱帯→毛様体帯→Descemet 膜→Schwalbe 線
- 77 Purtscher 網膜症で正しいのはどれか。
 a 眼球外傷で生じる。 b 両眼性はまれである。 c チアノーゼを合併する。
 d 網膜に白斑が多発する。 e 視力低下の期間は1週間以内である。
- 78 虹彩ルベオースの原因で頻度が高いのはどれか。2つ選べ。
 a 糖尿病 b 化学外傷 c 放射線照射 d 関節リウマチ e Vogt-小柳-原田病
- 79 鈍的眼外傷にみられる網膜裂孔の特徴はどれか。2つ選べ。
 a 萎縮円孔 b 黄斑円孔 c 鋸状縁断裂 d 赤道部多発裂孔 e 格子状変性円孔
- 80 鈍的眼外傷で受傷直後に受診した際、眼球破裂を疑わせる所見はどれか。
 a 低眼圧 b 前房出血 c 網膜振盪 d 水晶体脱臼 e 眼瞼皮下出血
- 81 加齢黄斑変性に対する抗 VEGF 薬の硝子体内注射で正しいのはどれか。
 a 感染予防に抗菌薬内服が有効 b 脳梗塞の既往がある患者には禁忌
 c 感染予防に術者のマスク着用が有効 d 水平筋付着部位近傍からの注射が安全
 e 感染の早期発見に注射直後の診察が有効
- 82 薬物と副作用の組合せで誤っているのはどれか。
 a インフリキシマブ———投与時反応
 b コルヒチン———催奇形性
 c シクロスポリン———腎機能障害
 d タクロリムス水和物———眼圧上昇
 e メトトレキサート———間質性肺炎
- 83 副作用として網膜異常を来さないのはどれか。
 a シスプラチン b パクリタキセル c インターフェロン
 d タモキシフェンクエン酸塩 e ヒドロキシクロロキン硫酸塩
- 84 全層角膜移植と比較して角膜内皮移植に特有の合併症はどれか。
 a 緑内障 b 拒絶反応 c 真菌感染 d 縫合不全 e 瞳孔ブロック
- 85 術中の眼内灌流液高を 70 cm にした時の推定眼圧はどれか。
 a 10 mmHg b 30 mmHg c 50 mmHg d 70 mmHg e 90 mmHg

- 86 ヨウ素系消毒薬で正しいのはどれか。2つ選べ。
a 0.001%以上で殺菌効果を示す。 b 真菌やウイルスには効果がない。
c 濃度が高いほど角膜障害が強い。 d 濃度が高いほどヨウ素が解離しやすい。
e 濃度が低いほど殺菌効果の持続時間が長い。
- 87 術前にワルファリンカリウムの投与を中止する場合、適切な中止期間はどれか。
a 手術当日 b 1日 c 3日~5日 d 7日~10日 e 2週
- 88 術中虹彩緊張低下症候群(IFIS)の原因薬剤で誤っているのはどれか。
a シロドシン b ナフトピジル c リスベリドン
d タムスロシン塩酸塩 e フェニレフリン塩酸塩
- 89 白内障手術後の屈折値が、SRK/T式による目標屈折値より遠視化している。
原因で正しいのはどれか。
a 眼内レンズを囊外固定した。 b 眼軸長を実際より短く測定した。
c 角膜屈折力を実際より大きく測定した。 d 水晶体屈折力を実際より大きく測定した。
e A定数を適切な値より大きな値を用いた。
- 90 点眼麻酔で誤っているのはどれか。
a 三叉神経に作用する。 b 虹彩の痛覚を抑制する。 c 約10秒で効果が発現する。
d 約15分間効果が持続する。 e ショック症状を起こし得る。
- 91 眼瞼けいれんの治療で正しいのはどれか。2つ選べ。
a 抗不安薬内服 b 抗てんかん薬内服 c A型ボツリヌス毒素注射
d 挙筋短縮術 e 眼輪筋切除術
- 92 緑内障手術で正しいのはどれか。2つ選べ。
a ステロイド緑内障は線維柱帯切開術の適応である。
b 線維柱帯切開術は線維柱帯切除術より濾過胞感染が多い。
c 術後の期待眼圧は線維柱帯切除術の方が線維柱帯切開術より低い。
d 線維柱帯切開術後の再手術に線維柱帯切開術を施行することはない。
e 代謝拮抗薬を併用した線維柱帯切除術後の濾過胞癒着化に濾過胞再建術は無効である。
- 93 眼内に気体を注入した場合、正しいのはどれか。
a 空気の膨張量は約1.5倍である。 b SF₆の非膨張濃度は12%である。
c C₃F₈の非膨張濃度は20%である。 d 全身麻酔では笑気の使用が推奨される。
e 空気の半減期は無水晶体眼より有水晶体眼で長い。
- 94 角膜縫合に最も適した縫合糸はどれか。
a シルク b ナイロン c ポリエステル d ポリプロピレン e ポリエチレングリコール
- 95 周辺虹彩切除術で正しいのはどれか。
a 点眼麻酔で行う。 b 自己閉鎖創を作る。
c 術後は縮瞳薬を点眼する。 d 強膜創の後方を圧迫して虹彩を脱出させる。
e 外科的輪部の後方1mmで強膜切開を始める。

- 96 眼部放射線治療による眼障害で正しいのはどれか。
- a 眼瞼皮膚炎は治療後早期に生じる。
 - b 角膜症は上皮障害より内皮障害の頻度が高い。
 - c 水晶体の核硬化が急速に進行する。
 - d 網膜症の本態は網膜静脈分枝閉塞である。
 - e 視神経症は網膜症より発症しやすい。
- 97 眼窩内容除去術の適応はどれか。
- a 眼瞼脂腺癌の眼窩内浸潤
 - b 肺扁平上皮癌の眼窩内転移
 - c 網膜芽細胞腫の視神経浸潤
 - d 壊死性血管炎による眼窩膿瘍
 - e 脈絡膜悪性黒色腫の強膜浸潤
- 98 裂孔原性網膜剥離の手術で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 冷凍凝固部位の網膜は癒痕化して肥厚する。
 - b 表面張力はシリコンオイルの方がガスよりも大きい。
 - c 脈絡膜循環障害は強膜内陥術の方が硝子体手術より多い。
 - d 硝子体手術後の再剥離は急速に増殖硝子体網膜症に進行する。
 - e 網膜裂孔の fish mouth は円周バックルより子午線バックルで生じやすい。
- 99 増殖糖尿病網膜症の硝子体手術後の合併症で誤っているのはどれか。
- a 角膜上皮剥離は非糖尿病眼より遷延しやすい。
 - b 網膜剥離が出現したら可及的早急に再手術を施行する。
 - c シリコンオイル注入眼ではその界面で細胞増殖を助長する。
 - d 術後血管新生緑内障の原因は不十分な網膜光凝固のことが多い。
 - e 術後2週以内の硝子体出血は前部硝子体線維血管増殖の可能性が高い。
- 100 網膜剥離手術で硝子体手術より強膜内陥術で頻度の高い合併症はどれか。2つ選べ。
- a 眼内炎
 - b 白内障
 - c 網膜新裂孔
 - d 脈絡膜剥離
 - e 眼球運動障害